

3

説明文・論説文(3)

漢字の部首・画数・筆順

段落のつながりと要旨

例題

☆ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

学習の要点

説明文や論説文では、筆者の言いたいことが順を追って述べられています。ですから、要旨をとらえるときも、段落がどのようなつながりで文章が展開されているのかをとらえる必要があります。

① 段落のつながりをとらえる

① 形式段落の要点をとらえる。(→P.14「学習の要点」)

② 要点をもとに、形式段落ごとの役割を考える。

例 ・筆者の考えや意見を示す段落

・具体例を示す段落

・原因・理由・根拠を示す段落 など

③ 役割をふまえ、形式段落ごとのつながりを考える。

④ 意味段落(内容のうえでつながりが強い一つ以上の形式段落のまとまり)にまとめる。

② 要旨をとらえる

要旨とは……説明文や論説文において、筆者が読者に最も伝えたこと。

① 文章全体の話題をとらえる。(→P.14「学習の要点」)

② 段落ごとのつながりをとらえる。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(高田敏子「詩の世界」より)

問一 この文章を内容のうえから二つの意味段落に分けるととき、後の意味段落はどの段落からですか。段落番号で答えなさい。

段落

問二 ③段落はどのような役割を果たしていますか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 前の段落の内容について、理由を説明している。
- イ 前の段落の内容について、例を挙げている。
- ウ 前の段落の内容について、結果を説明している。
- エ 前の段落の内容とは反対の内容を述べている。

問三 この文章の結論段落はどれですか。段落番号で答えなさい。

段落

問四 この文章の要旨を次のようにまとめました。次の文の□にあてはまる言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。

わたしたちの生活には が必要だが、
 や もあってこそ、ほんとうに生きているといえる。

- ③ 結論段落(中心となる段落)をおさえ、その要点をとらえる。
- ・ 文章の終わりにあるのがふつう。
- ・ 文章のはじめや、はじめと終わりにある場合もある。

④ 「文章全体の話題」と「結論段落の要点」をもとに要旨をまとめる。

考え方

問一 この文章は、九つの形式段落からできています。各段落の要点や役割をよく確かめ、内容のうえでのもままりをとらえましょう。

① 段落：生活には常識が必要である。

② 段落：常識とは、一般的な知識である。

④ 段落：生活は常識にしたがってなりたっており、社会生活には常識を守ることが大切である。

⑤ 段落：でも、心の持ち方は常識だけにしぼられてはつまらない。

⑥ 段落：「鳥の飛ぶのはあたりまえ」などというだけの見方では、たのしみも考えも感動もない人ということになる。

⑦ 段落：「鳥はなぜ飛ぶのかしら？」など、思いの例。

⑧ 段落：さまざまに思うことで、思いは発展してゆく。

⑨ 段落：ふしぎがる心や問いかける心を持つことが、ほんとうに生きているということである。

問二 ③段落の書き出しには、「たとえば」とつけることができます。

問三 文章の結論が述べられている段落を見つけることが、要旨をまとめる手がかりとなります。

問四 前半と後半の要点をうまくつなぎ、筆者がこの文章で読み手に最も伝えたかったことをまとめましょう。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

5

10

15

20

(宮田光雄「生きるということ」より)

(注) 動機づけ(モチベーション)：行動を起こし、目標に向かわせる心の動き。

原体験：もともとなる体験。 インターカレッジ：大学間の交流。

ファンタジー：空想。 幻想。 教養：身についた広い知識や、豊かな心。

□ 定番問題 線「こういう人たち」とは、どのような人たちのことですか。文章中から二つ書きぬいて答えなさい。(指示語)

□ 問一 次の一文は、ある段落の最後からぬき出したものです。どの段落の最後にあつたものですか。段落番号で答えなさい。

あるいはU・K・ルীগウィンの大作『ゲド戦記』(全三巻)。

段落のつながり

段落

25

問一 — 線① 「まず児童文学の世界から入っていくようにすすめています」とありますが、筆者はなぜ児童文学をすすめるのですか。その理由を次の中から二つを選び、記号で答えなさい。

ア すぐれた児童文学は短くて読みやすいから。
イ すぐれた児童文学はストーリーが簡単だから。
ウ すぐれた児童文学はたいへんおもしろいから。
エ すぐれた児童文学はひじょうに読みごたえがあるから。

オ すぐれた児童文学は映像的だから。

問二 — 3段落はどのような役割を果たしていますか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

段落のつながり

ア 対照的なことと比べて説明している。

イ 説明したことから具体例を示している。

ウ 筆者の考えをより詳しく説明している。

エ 筆者の考えの根拠を示している。

問四 — 線② 「彼らの生き生きとした反応に驚かされた」とありますが、なぜ学生たちは生き生きとした反応を示したのですか。

次の文の□にあてはまる言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。

を読まなければならないという圧迫

感から解放された、楽しい

を味わ

うことができたから。

問五 この文章の段落構成について述べたものとして最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 1段落で意見を述べ、2〜4段落はその説明となっている。

イ 1〜3段落で話題を展開し、4段落で意見をまとめています。

ウ 1段落で意見を述べ、2・3段落の説明を受けて、改めて

4段落で意見を述べている。

問六 この文章の要旨を次のようにまとめました。A〜Cにあてはまる言葉を、Aは四字、Bは十六字、Cは九字で文章

の中から書きぬいて答えなさい。

若い人たちがAに引き戻すには、Bということを経

わたってもらわなければならないが、そのことこそ、Cのた

めの原点にすべきものである。

A

B

C

2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30

(注) 定義：物事の意味をはっきりと決めること。

インプット：入力。情報や刺激しげきを得ること。ここでは「聞く」とほぼ同

(齋藤孝さいとうたかし「話し上手 聞き上手」より)

じ意味。

アウトプット…出力。持っている情報や感情を口に出すこと。ここでは「聞いたことを」話す」とほぼ同じ意味。
補完…足りないところを補って、完全なものとする。

問一 この文章の話題は何ですか。最もふさわしいものを次から選

び、記号で答えなさい。(話題)

ア 「聞いた」といえる基準。

イ 「聞く」と「話す」の違い。

ウ 人が他人の話を知ろうとしない理由。

エ 正しいメモの取り方。

問二 線①「これ」の指している内容を、文章中の言葉を使っ

て二十五字以内で答えなさい。(指示語)

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

問三 線②「同じようなことは日常生活でも見られます」とあ

りますが、何段落から何段落までの説明を指して「同じようなこと」と言っていますか。段落番号で答えなさい。

段落のつながり

| | | | |
|--|----|--|----|
| | 段落 | | 段落 |
|--|----|--|----|

問四 線③「人の話は…ほとんどである」と考える筆者は、

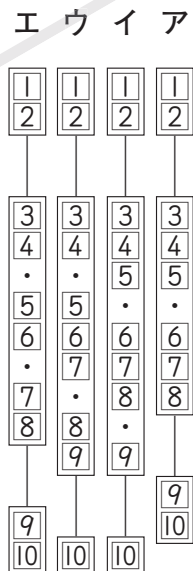
人の話を聞くにあたっては何が大事だと考えていますか。十字以内で答えなさい。

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

問五 この文章における段落のつながり方を示したものとして最も

ふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

段落のつながり



問六 この文章の要旨を、五十字以内の一文にまとめて答えなさい。

要旨

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

★ 次の【文章A】と【文章B】を読んで、後の問いに答えなさい。

【文章A】

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45 40 35 30 25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

75

70

65

60

55

50

(注) イヌイット…アラスカやカナダなどに住んでいる種族。
(シオミトシキ)「汐見稔幸「教えから学びへ」より」

【文章B】

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25

30

35

40

45

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 先人：昔の人。

(河野哲也「問う方法・考える方法」より)

問一 【文章A】を、内容のうえから次のように三つの意味段落に分けるときの、IIの内容は何段落から何段落に書かれていますか。

あてはまる段落番号を答えなさい。 (段落のつながり)

I 言葉・名前を知ることについて

II 対象の属性を知ることについて

III 現象の背景はいけいにある法則を知ることについて

段落く 段落

問二 問一のIIの意味段落の要点を次のようにまとめるとき、

A・Bにあてはまる言葉を、Aは二字、Bは七字で文

章中から書きぬいて答えなさい。 (要点)

対象となる物の属性が「わかる」と、親しみが持てるものになるうえ、属性を明らかにすることにAを感じるようになり、関連することをBという気持ちが生まれる。

A B

問三 線①「現象の背景にある法則を明らかにすること」とあ

りますが、「現象の背景にある法則」を見つげるために必要なことは、どのようなことですか。文章中から二十四字でさがし、はじめと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。

問四

線②『知りたい』という気持ちには、大きく言って二

種類の動機があると思います」とありますが、二種類の動機とはどのようなものですか。文章中の言葉を使って答えなさい。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

問五

【文章A】【文章B】に書かれている内容として正しいものを、

次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

要旨

ア 自分が世界のなかで効力を持てる存在（そんざい）になりたいという気持ちが強くなると、先人たちの残してくれた知識は、古すぎて学んでも役に立たないと考えるようになる。

イ 言葉や名前の背景にある法則を見つげるためには、特化した思考ができる生まれを持った才能と、つながっていないものをつなげる努力が必要である。

ウ 言葉や名前を知るとその性質や特徴がわかるようになり、もっと知りたいという気持ちも生まれ、さらに物事の背後にある法則にも気づけるようになっていく。

エ 目的を達成するために何かができるようになりたいという意欲を持ち、知識や技術の習得の必要性を理解することが、知識を探究する学びへとつながっていく。

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

【文章A】

| |
|--|
| |
|--|

【文章B】

| |
|--|
| |
|--|

問六

人が生きていくためには、学ぶことが不可欠です。【文章A】では学びには段階があり、法則を見つげるためには専門性（せんもんせい）が必要である。【文章B】では何かをしようとする意欲こそが大切だと書かれています。あなたは【文章A】【文章B】のどちらの立場に共感しますか。あなたが今後どのように学びたいかもふくめて、百字以内で書きなさい。

| | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

●漢字の部首

部首は、大きく次の七種類に分類されます。

| | | | | |
|-----|------|--|-----------|------------|
| (1) | へん | | イ(にんべん) | シ(さんずい) |
| (2) | つくり | | ネ(しめすへん) | 言(ごんべん) |
| (3) | かんむり | | リ(りつとう) | 頁(おおい) |
| (4) | あし | | 冫(おおざと) | 隹(ふるとり) |
| (5) | たれ | | 冫(わかんむり) | 亻(うかんむり) |
| (6) | にょう | | 艹(くさかんむり) | 竹(たけかんむり) |
| (7) | かまえ | | 心(ひとあし) | 灬(れんが・れっか) |
| | | | 血(さ) | 尸(しかばね) |
| | | | 尸(がんだれ) | 尸(やまいだれ) |
| | | | 冫(まだれ) | 彳(えんにょう) |
| | | | 走(そうにょう) | 辶(しんにょう) |
| | | | 匚(かくしがまえ) | 勹(つつみがまえ) |
| | | | 匚(くにがまえ) | 門(もんがまえ) |

●漢字の画数

漢字を組み立てている点や一続きの線を「画」といい、画の数を「画数」、一つの漢字全体の画数を「総画数」といいます。

●漢字の筆順

漢字の一画一画を書いていく順序にはきまりがあり、その順序を「筆順」といいます。おもなきまりとして、「上から下へ」「左から右へ」「外側から内側へ」などがありますが、例外もあるので、漢字ごとにその筆順も覚えておきましょう。

問一 次の部首の名前をひらがなで答えなさい。

- (1) イ
(2) リ
(3) 厂
(4) 灬
(5) 辶
(6) ネ
(7) □

| | |
|-----|----------------------|
| (1) | <input type="text"/> |
| (2) | <input type="text"/> |
| (3) | <input type="text"/> |
| (4) | <input type="text"/> |
| (5) | <input type="text"/> |
| (6) | <input type="text"/> |
| (7) | <input type="text"/> |
| (8) | <input type="text"/> |

問二 次の部首と漢字を組み合わせてできる漢字を答えなさい。

- (1) 売
(2) 化
(3) さんずいと「主」
(4) おおがいと「客」

| | |
|-----|----------------------|
| (1) | <input type="text"/> |
| (2) | <input type="text"/> |
| (3) | <input type="text"/> |
| (4) | <input type="text"/> |

問三 次の漢字の部首名をひらがなで答えなさい。

- (1) 都
(2) 思
(3) 起
(4) 写
(5) 先
(6) 利
(7) 間
(8) 包
(9) 病
(10) 店
(11) 室
(12) 雑

| | |
|------|----------------------|
| (1) | <input type="text"/> |
| (2) | <input type="text"/> |
| (3) | <input type="text"/> |
| (4) | <input type="text"/> |
| (5) | <input type="text"/> |
| (6) | <input type="text"/> |
| (7) | <input type="text"/> |
| (8) | <input type="text"/> |
| (9) | <input type="text"/> |
| (10) | <input type="text"/> |
| (11) | <input type="text"/> |
| (12) | <input type="text"/> |

問四 次の漢字の総画数を、漢数字で答えなさい。

(1) 業 (2) 曲 (3) 弟
 (4) 部 (5) 続 (6) 運
 (7) 勉 (8) 備 (9) 残

| | | |
|-------|-------|-------|
| (7) 画 | (4) 画 | (1) 画 |
| (8) 画 | (5) 画 | (2) 画 |
| (9) 画 | (6) 画 | (3) 画 |

問五 次の各組の漢字のうち、他の三つと画数がちがうものを選び、記号で答えなさい。

(1) 丸 (2) 主 (3) 似 (4) 快 (5) 鏡
 (1) 不 (2) 兄 (3) 色 (4) 良 (5) 観
 (1) 円 (2) 氏 (3) 兵 (4) 究 (5) 曜
 (1) 戸 (2) 犯 (3) 別 (4) 兆 (5) 験

| |
|-----|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4) |
| (5) |

問六 次の漢字を、例にならって、筆順ごとに分解して書きなさい。ただし、画数は【 】に示してあります。

例 母【五画】
 氷【五画】 (2) 比【四画】
 改【七画】 (5) 梅【十画】 (3) 布【五画】
 印【六画】 (8) 世【五画】 (6) 固【八画】

| | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (8) | (7) | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | 比 | ↓ |
| 世 | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | 布 | 氷 | ↓ |
| ↓ | 印 | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |
| ↓ | ↓ | 固 | 梅 | 改 | ↓ | ↓ | ↓ |